

ウォーターPPP 導入可能性調査結果について

1. 調査の概要

(1) 目的

香取市の下水道事業(公共下水道事業、農業集落排水事業、地域汚水処理事業)では、急増する老朽化施設に対応するための職員不足、厳しい財政状況と人口減少に伴う使用料収入の減少など、様々な課題を抱えています。特に安定した下水道事業の運営には交付金の活用が不可欠であり、これら課題解決の1つの手段として地方公共団体と民間事業者が連携するウォーターPPPの活用が有効とされており、ウォーターPPP 導入可能性調査を行いました。

(2) 調査内容

下水道事業の各種情報収集・整理、現状分析と課題洗い出しを行い、各課題に対するウォーターPPPの実現可能性と事業スキームについて、ワーキンググループにおいて方向性を検討したうえで、方針を決定しました。検討にあたっては、地元企業等を対象とした勉強会、マーケットサウンディングによる民間事業者の要望・意向を確認しています。

2. 調査結果

本調査では、下記のとおりウォーターPPPの事業スキームを選定しました。

(1) 対象事業・対象処理区等

本市の全ての下水道事業の処理区・区域を対象とします。

(2) 対象施設

対象施設は、現状分析とマーケットサウンディングにより、管路施設(マンホールポンプを除く管渠、マンホール、取付管、公共枿)を対象とします。

(3) 事業方式

管路施設の維持及び修繕を行うと共に、管路施設の点検・調査計画を策定して劣化状況を把握し、それを踏まえた修繕・改築計画の策定を行います。『管路施設を対象とする更新支援型』になります。

3. 今後のスケジュール(想定)

選定した事業スキームを対象として、令和8年度に「入札・公募資料等の準備」、令和9年度に「入札・公募、契約」及び「事業開始」を想定しています。

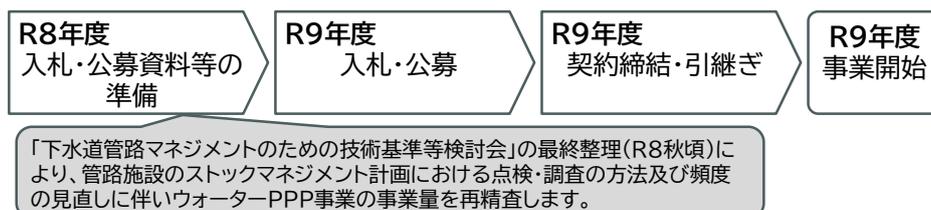


図1 ウォーターPPP 事業スケジュール(想定)